

平成27年度

市内中小企業

経営動向調査結果

問合せ 商工課商工係

市と商工会議所は、市内の経営動向と経営意識を的確に把握するため、市内事業所の協力で10月に経営動向調査を実施し、その結果をまとめました。

調査の内容と結果

調査は市内千727の事業所を対象に、昨年の同時期と比較し、景気の動向について答えていただいたものです。(有効回答数410)

景気の動向は

売上高についての質問では、全業種の43.4%が「減少した」と回答し、昨年と比べ1.7ポイント増となっています。なお、「増加した」という回答は21.0%となっています。

(図1)

また、純利益が「減少した」と46.5%が回答しています。受注が「減少した」と回答したものは37.6%となっています。(図2)

企業間の競争に関する質問では、42.0%が「厳しくなった」と回答しています。(図3)

経営方針は

【製造業・建設業】

「人材の育成」の51.2%をトップに「営業力の強化」「省力化・合理化」の順になっています。

【商業・サービス業】

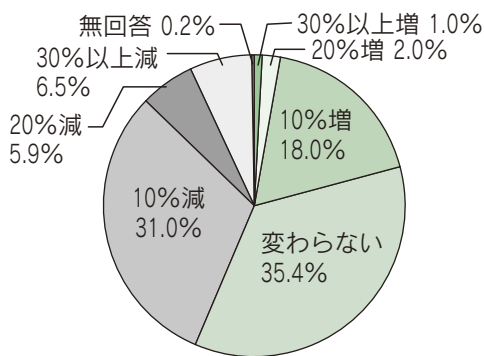
「人材の育成」の41.1%をトップに「販売組織の強化」「商品の高級化・専門化」の順になっています。

情報収集は

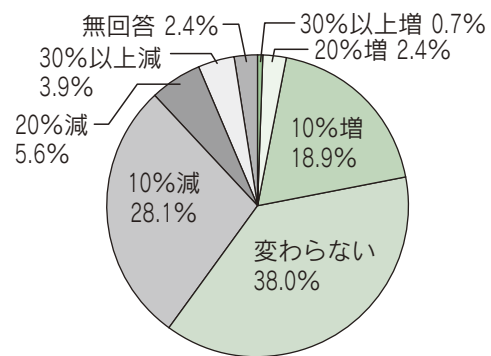
今後積極的に収集しなければならない情報では、製造業・建設業、商業・サービス業ともに昨年と同様「自社の属する業界動向」をトップに、製造業・建設業では「人材の確保」「新技術・新製品」で、商業・サービス業では「人材の確保」「他業界の動向」と続いています。

3か月後の業況については、全業種で「横ばい」と回答したものが55.2%あり、「停滞」は29.0%で昨年に比べ12.0ポイント減となっています。また「好転」と回答したものは14.6%で昨年と比べ5.7ポイント増となっています。(図4)

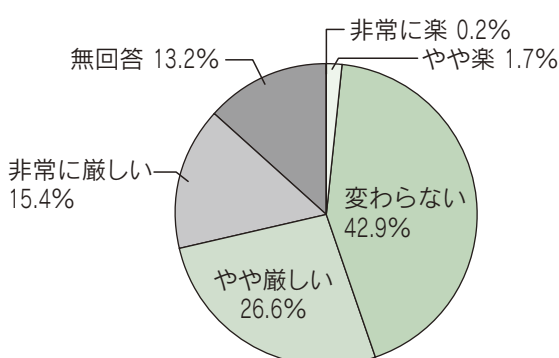
売上高(図1)



受注(図2)



企業間競争(図3)



今後の業況(図4)

